

あすなろ通信

逗葉高校校長だより

No.14 平成 26 年 3 月 25 日

あしたのために

4 月から書き始めたこの通信も、今回で最後になります。今まで書きためた学級通信の内容やそのときどきの話題なども入れながら書いてきましたが、あらためて学級経営や授業などについて考えるよいきっかけとなりました。

また、何人かの保護者の方から「楽しみにしています」という声をかけていただいたことも、大きな励みになりました。担任として学級通信を発行していたときも、保護者の方からの「楽しみにしています」という声に支えられていました。ちょっとした一言に大きな勇気を与えてもらいました。何とか最後まで発行することができたことを感謝いたします。

「士別れて三日なれば、即ち更に刮目(かつもく)して相待す(あいたい・す)べし」という言葉があります。「刮目」とは、「目をこすってよく見る」ということです。努力している者は、三日も会わなければ見違えるほど変わっている、という意味です。自分自身が変わろうという気持ちさえあれば、たった三日でも人は大きく変わることができるのでしょうか。これからの未来を担う高校生の皆さんは、自分を信じ、自分の目標に向かって歩み続けてください。未来と、そして、あなたのあしたのために・・・

卒業式の時に、クローン研究の第一人者である本校 5 期生の若山さんから卒業生へのメッセージをいただきました。在校生の皆さんにも、ここで紹介します。

この度は、僕の仕事を生徒たちに伝えてくださり、ありがとうございました。逗葉高校出身者として、母校の生徒たちが僕の仕事を良い刺激を受けたとしたら、本当にうれしい限りです。少しでも母校に貢献できるのであれば、いくらでも協力いたします。もしよろしければ、次の言葉を生徒に贈ってください。

僕の逗葉高校での成績は、特に英語がひどかったので、全科目平均すると中の中というレベルでした。英語が弱点だとわかっている、英語は大嫌いだったので、英語を勉強しないでも済む方法を勉強し、当時は珍しかった 2 次試験で英語のない茨城大学に入ることができました。受験勉強ではなく、受験対策を勉強したのです。

そのおかげで、何とか茨城大学に入学できたのですが、科学者になるには十分

な環境でないことがわかってきました。大部分の科学者は、東大や京大出身なのです。僕は小さい頃から科学者になることを夢見てきましたが、このままでは科学者になるのはほぼ不可能だとわかったのです。やっぱり僕には、科学者になることなんて不可能なのか、と挫折感がありました。

でも、大学受験の時、普通に勉強するのではなく、受験対策を勉強することで、英語が 0 点なのに国立大学に入れました。僕は、同じことを科学者になるために行うことにしたのです。つまり、一流大学に入れるだけの頭脳を持たない僕が科学者になるためには、勉強で勝負しては勝ち目がない、勉強以外の方法で他の科学者に勝負することにしたのです。

今回の研究もそうですが、以前からずっと行っていたクローンマウスや、今行っている宇宙ステーションでの繁殖実験など、すべて頭ではなく技術で勝負しています。技術は訓練で身につくものであり、僕にだって東大や京大の科学者に勝てるのです。

皆さんが、今後社会に出たとき、一流大学出身の人たちと一緒に仕事をするかもしれません。でも、相手が自分よりレベルが高いなんて考えたりしないでください。高校で 0 点を取っていた僕が戦えるのですから、みんなも、自分ならでは、という方法を見つけ出し、戦ってください。一卒業生として、逗葉高校の後輩たちが活躍してくれるのを楽しみにしています。

若山照彦

◆◆◆ やさしい元気! 逗葉高校ニュー入 ◆◆◆

第 34 回卒業式を行ないました

3 月 1 日(土)、34 期生が社会へ羽ばたいていきました。入学以来、今までずっと逗葉高校の基礎を作ってくれた学年でした。卒業生は大変立派な態度で、3 年間の締めくくりにあふさわしい卒業式でした。来賓の皆様からも、卒業生が大変素晴らしかった、とのお言葉をいただきました。

キャプテン会議で逗葉高校の活性化を議論

3 月 6 日(木)、学年末試験の最終日に、各部・同好会のリーダーが集まり、第 3 回キャプテン会議が行なわれました。前回の会議で決めた「あいさつをしよう」「ゴミは分別しよう」の取り組みについての報告や、新入生の勧誘などについて話し合いました。新年度の部活動紹介では、「恋するフォーチュンクッキー(逗葉バージョン)」を作ることなどが話題になりました。You Tube で評判の「神奈川県 Ver.」に負けない、素晴らしい作品になりそうですね。今からとても楽しみです!